

取組名称「米子市 みんながつながる場所 “公民館”」概要図（アイデア部門）

■いつでも予約・
鍵の貸し借り不要



地域



■公民館が教育
を補う学びの場



■家の近くで全て
の手続きが完了



 引越し	 就職・退職	 結婚・離婚	 妊娠・出産	 子育て
 教育	 ごみ	 高齢・介護	 病気・けが	 死亡



取組調書（アイデア部門）

地方公共団体名	米子市		
アイデア名称	みんながつながる場所“公民館”		
連携自治体、企業、団体等			
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的な内容）	(種類) <small>(注)</small>	②	(左記が①の場合の分野)
	<p>【デジタルを活用したアイデアの全体概要】</p> <p>公民館を全ての地域住民がデジタル社会の恩恵を享受できる場所として活用するためのアイデア。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等身大のスクリーンを介して、遠隔地と繋いだ子供の学びや高齢者の健康教室等を行う場として活用する。 ・各公民館に基幹業務システムを整備し、等身大のスクリーンを介して、市役所で行う手続き全てを市役所で行うのと同じような手続きを可能とする。官民APIゲートウェイ整備後は、行政・民間を含めたあらゆる生活に必要な手続きが完結できる場となる。 ・システム予約と連動したスマートロックを活用し、平日日中忙しい社会人でも利用しやすい環境を作る。 ・地域の様々な世代が上記の活動を公民館で行うことにより、地域の直接的なつながりがより強まる。これは、デジタル社会において、心の豊かさを育むものとしてある程度残す必要があると考えている。 <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>2040年問題等が提起される人口減少社会において、地方では特に、持続可能な地域社会の確立が急務である。</p> <p>持続可能な地域社会を確立するためには、リアルの交流による地域のつながりを残しながら、デジタルを活用し、地域で暮らしが完結できることが求められると考え、地域の拠点となる“公民館のDX”を米子市推進しようとしています。</p> <p>【解決する課題の具体的な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル社会が進んでいく中で高齢者のデジタルデバイドの問題は解決しなければならないが、スマホ教室を開催するだけですべて解決することはできない。今後ある程度の期間は、公民館でのサポートを行うことにより、よりスムーズなデジタル社会への移行を目指す。 ・現状、公民館予約と鍵の貸し借りについて、デジタルを活用できておらず、平日働いている社会人にとっては利用するのに不便であるが、システム予約と連動したスマートロックを導入することにより、公民館利用がインターネットで完結する。 		

米子市

デジタルの活用により目指す成果（数値）	<ul style="list-style-type: none">・市役所への来庁者削減・公民館利用者の年齢層拡大・各種公民館における講座参加者増加
本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	<p>・本アイデアにあたっては、あえて、デジタルを介さない直接的なつながりを残している。全てが自宅で完結するのではなく、公民館に出掛けることにより、心と体の健康を保つことができると考える。地域のつながりを残すことは、地域防災力につながり、災害時にも生きてくる。</p>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度中：ネット環境整備 公民館をサテライト会場として、健康教室（フレイル予防実践講座等）実施 ネット予約システム、スマートロック導入検討・令和5年度以降：各公民館における基幹業務システム整備 データ連携基盤整備 等身大スクリーンの導入検討

注： 以下の①または②のいずれかを選択

- ① デジタルの活用により、次の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や地域の産業振興につながっているもの。
(・医療 ・教育 ・子育て ・物流 ・交通 ・農林水産業 ・中小企業 ・観光 ・防災)
- ② 高齢者、障がい者などデジタルに不慣れな人々がデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる環境づくりを既に進めるなど、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる、「誰一人取り残されない」社会の実現に寄与しているもの。